

## 4. キャリア教育・実践的職業教育（各学科における取組み）

### <理学療法科>

#### ●キャリア教育への取組状況

卒業生による職業講話を毎年、実施している。

#### ●実習・実技等の取組状況

2年次～4年次に合計19週間の実習を病院、診療所、老人保健施設にて実施。

種別	時期	期間	内容
臨床実習Ⅰ期 (検査・測定)	2年次2月	3週間	情報収集、検査・測定を実践し、その結果から検査毎および検査間における対象者の現状を把握する力をつける。
臨床実習Ⅱ期 (評価)	3年次 10月～11月	8週間	理学療法評価に基づき、対象者の理学療法や将来像(予後)を考察する力をつける。
臨床実習Ⅲ期 (総合)	4年次 5月～6月	8週間	理学療法の実施など理学療法士として仕事をしていく上で必要なスキルを総合的に実施する力をつける。

#### ●就職支援等への取組支援

県内の主な就職先の理学療法士による、各施設が求めている人材についての特別講義を4年次に実施している。

### <介護福祉科>

#### ●キャリア教育への取組状況

- ・ 入学直後に実施される宿泊研修での挨拶研修をはじめとして、1年次より社会で必要とされるスキルやマナーを身につける研修や講座を実施している。
- ・ 視聴覚教材などイメージを具現化しやすい教材を活用して、「職務の理解」等の講義を行う。
- ・ 計3回の施設実習後には、段階毎の実習の振り返りをまとめ、発表を通してコミュニケーション能力を養う。
- ・ 卒業研究では、2年間の講義や実習、学校生活を通して得られた知識・経験を基に、

エクセルやワード、パワーポイントを使った卒業研究発表を行う。

●実習・実技等の取組状況

- ・ 学校独自の「実習の手引き」を基に、実習に対する心構えや記録の書き方の指導をする。
- ・ 「生活支援技術」科目の中で介護技術の基本を徹底して指導し、実習先で有益な実践確認ができるようにする。
- ・ 1年前期に施設見学を行い、実習前に実習先を見学することで、施設実習のイメージを喚起させる。
- ・ 実習中には、実習指導者との連携を密に行い実習課題の進捗状況や実習記録の確認を行う。

●就職支援等への取組支援

- ・ 履歴書など、就職に関係する書類の作成指導や面接指導を行う。
- ・ 長崎県社会福祉協議会が、年2回開催している「福祉合同面談会」への参加を促す。
- ・ 学校独自で福祉施設を招き就職面談会を開催している。
- ・ 随時、学生の希望を聞き、適切な就職先を紹介する。また企業からの求人も配信する。

<柔道整復科>

●実習・実技等の取組状況

外部講師担当の総合演習の授業では、実際の現場で使用している実技を取り入れている。

●就職支援等への取組支援

卒業生の就職先、求人を出している企業と情報交換を行い、学生への就職あっせんを行っている（年2回の就職合同説明会）。

<健康鍼灸科>

●キャリア教育への取組状況

「社会はりきゅう学」

- ① 全国鍼灸マッサージ師協会より、保険についての講義がある。
- ② セイリン株式会社より、鍼の制作工程の講義がある。

●実習・実技等の取組状況

「はりきゅう臨床実習」

長崎県鍼灸師会に所属されている協力治療院において、体験治療実習を行っている。

●就職支援等への取組支援

・全国から求人募集のある企業が集結し、年2回の就職ガイダンスを行っている。

・担任制度により個々の学生のニーズを把握し、広報部との連携を強化、Wサポートシステムで就職100%を実現している。

<セラピスト&フィットネス科>

●キャリア教育への取組状況

本学科では、一年時の春期休暇期間に集中講義として「キャリア教育（必修科目）」を実施している。各時間に設けている個人ワークやグループワークを通し、働くうえで自己理解やチームワークが重要であることを認識し、最終的に「なぜ働くのか？」という疑問に各々が考えていくことを目的としている。

また、採用試験で用いられるグループディスカッションやグループ面接の練習や採用実績のある企業のホームページの閲覧を行うことで、就職活動の意識付けも併せて行っている。

●実習・実技等の取組状況

校外実習Ⅰ・Ⅱ…各高校部活動や地域イベントにおけるコンディショニング実習

資格取得研修…沖縄にてPADIオープンウォーターダイバーライセンス取得

企業見学研修…福岡にて求人先企業の説明会および店舗見学

●就職支援等への取組

校内での単独企業説明会の実施

担任と就職課職員による履歴書の添削および面接指導

<トータル美容科>

●キャリア教育への取組状況

本校では、業界の最前線で仕事をされている講師を招き、技術の習得や業界事情の理解を目的として実践的な実習授業を展開している。2年時には毎週、多方面の美容室の講師による美容実習授業を行い、広範囲の知識と技術力をもった学生の育成に注力している。

このような授業展開によりサロンの教育体制や営業体制への理解も深まり、就職にも結びつけることができる。

美容実習授業では、卒業後就職した学生が講師として講義や実習を担当するケースも増えており、在校生の職業意識の向上にも役立っている。

2年生には現場実習として美容室での実習を行い、サロンの現状を早く把握・理解し、経験値を高める機会を設けている。

国家資格である美容師はもとより、エステ・メイク・ネイル等の美容に関わる民間資格の取得にも力をいれ、学生の希望によって多くの資格が取得できる教育体制を整えている。

#### ●実習・実技等の取組状況

美容業界の現場や最新の美容技術、トレンドをいち早く体験できるよう、教員自身も勉強会・学会や学校業界での会合に積極的に参加し、授業に取り入れている。

美容ディーラーや美容メーカーと連携を取り、授業内で話題の美容器具や商品の情報などのデモンストレーション、ワークショップを開催している。こうした授業を今後は公開授業とし、卒業生はもちろん一般サロンのスタッフの方々にも情報の発信を行う計画である。

美容関連のイベント、技術大会、フォトコンテストにも積極的に参加し、技術力の向上はもちろん人生の経験値を高めることにより将来社会人になってからの対人コミュニケーション力の向上も目指している。大会やイベントでの結果はもちろん、そこまでの過程を大切にし、豊かな人間力も身につけられるような教育指導を行っている。

そのほか校外授業として、近隣の医療施設を中心に1年に数回のボランティア活動を行っている。病院の通所リハビリテーションにおける“化粧療法”の活動が利用者の方々にも大変喜ばれている。

#### ●就職支援等への取組支援

講師依頼や現場実習地・就職先の開拓を目的とし、定期的なサロン訪問を行っている。

ハローワークと連携し、就職試験対策に関する講義を実施しているほか、クラス担任による個人面談を通して、就職先の紹介や模擬面接を適宜行っている。